

（2）海上小口貨物における簡易通関の導入に係る業務の新設 <2>



2023年6月14日
輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

第20回WG提示済み
第22回にて新規業務名等を赤字更新

区分	概要
1. 検討項目	海上小口貨物における簡易通関の導入に係る業務の新設
2. 変更要望 (現行手続等における課題)	近年増加し続ける海上小口貨物の輸入に対し、適正な水際取締を確保しつつ、より一層の利便性向上及び迅速通関を実現する必要がある。
3. 次期仕様	<p>海上貨物の輸入において一定の条件を満たす場合に、通常の輸入申告（「輸入申告事項登録（IDA）」業務）よりも申告項目を限定した簡易的な輸入申告業務を新設する。</p> <p>併せて、海上簡易輸入申告の利用に先立って必要となる事前情報を登録する業務を新設する。</p> <p>※輸出は対象外とする。</p>

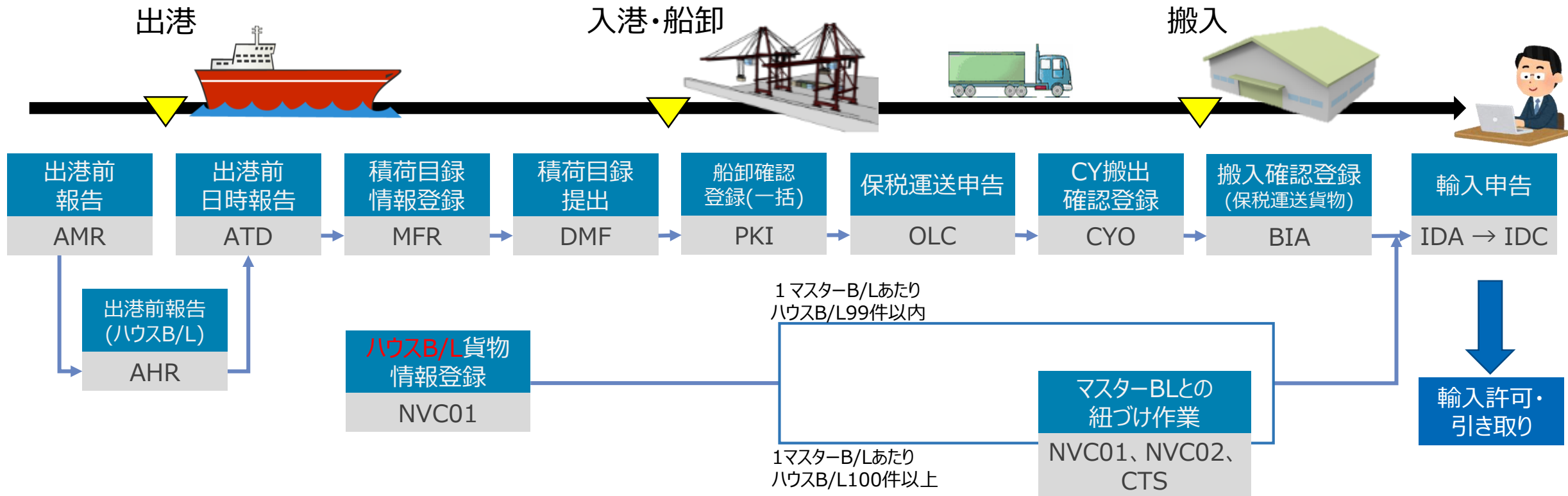
※本案件は、関税局・税関と調整の上、現時点で想定される内容として提示するものであり、今後検討される関税局・税関による制度面の具体的内容により、修正される可能性があります。

2. 第6次NACCSにおける海上輸入混載貨物関連業務フロー

第6次NACCSにおける海上輸入混載貨物関連業務の主な流れは以下のとおりである。

第20回WG
提示済み

現行



<参考> 海上混載貨物における登録件数の制限

現行において、NVC01業務1回の送信で登録可能なハウスB/L件数は20件、1件のマスターB/Lに対して関連付け可能なハウスB/L件数は最大99件との制限がある。

1件のマスターB/Lに関連付けるハウスB/L件数が100件を超える場合は、以下の例のように、ダミーの子B/Lを一旦、登録・関連付けた上で、更に孫B/Lを登録・関連付けることで登録可能である。

【例：1マスターB/Lに、ハウスB/Lを250件分関連付ける場合】

①以下の内容でNVC01を1回送信
(ハウス3件分×1回)

NVC01の入力項目	入力内容
マスターB/L番号	親B/L
ハウスB/L番号 (1件目)	子B/L_A
ハウスB/L番号 (2件目)	子B/L_B
ハウスB/L番号 (3件目)	子B/L_C

②以下の内容でNVC01を5回送信
(ハウス20件分×4回、19件分×1回)

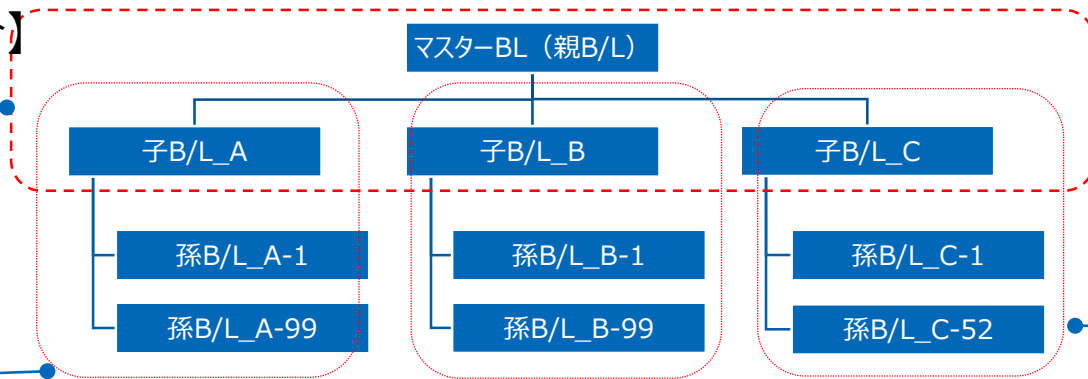
NVC01の入力項目	入力内容
マスターB/L番号	子B/L_A
ハウスB/L番号 (1件目)	孫B/L_A-1
...	...
ハウスB/L番号 (99件目)	孫B/L_A-99

③以下の内容でNVC01を5回送信
(ハウス20件分×4回、19件分×1回)

NVC01の入力項目	入力内容
マスターB/L番号	子B/L_B
ハウスB/L番号 (1件目)	孫B/L_B-1
...	...
ハウスB/L番号 (99件目)	孫B/L_B-99

④以下の内容でNVC01を3回送信
(ハウス20件分×2回、12件分×1回)

NVC01の入力項目	入力内容
マスターB/L番号	子B/L_C
ハウスB/L番号 (1件目)	孫B/L_C-1
...	...
ハウスB/L番号 (52件目)	孫B/L_C-52



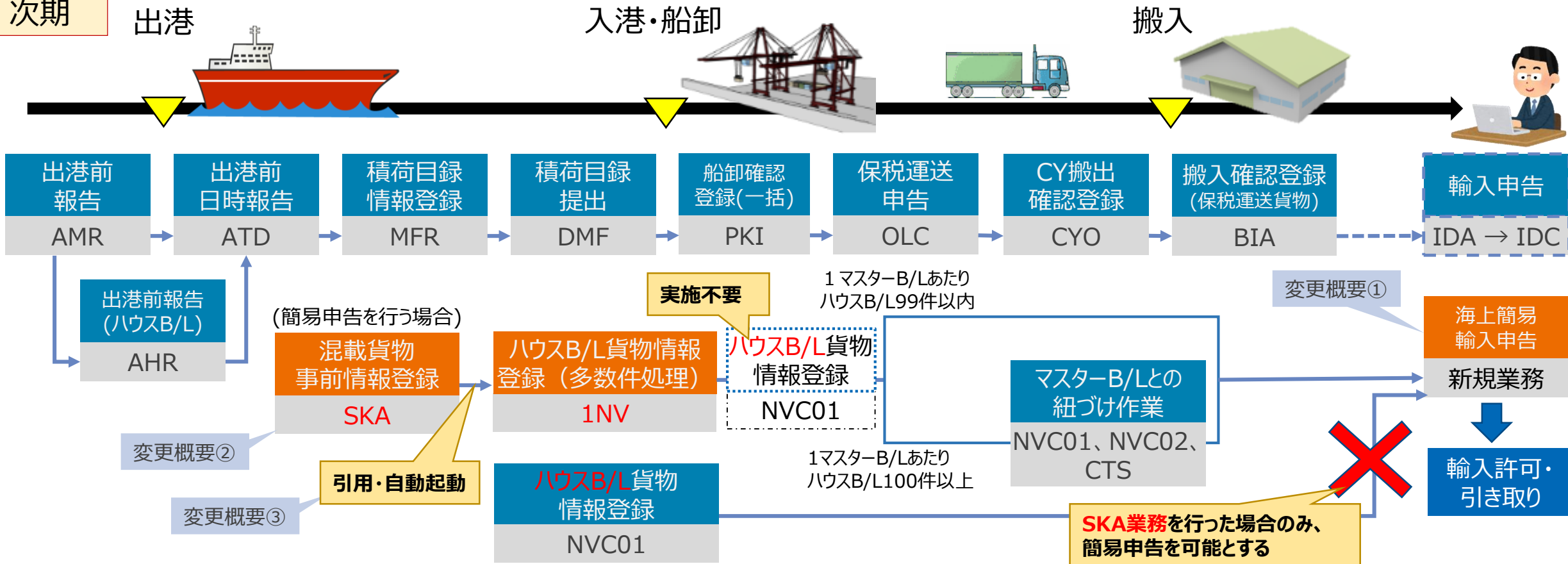
7次NACCSでは、NVC01業務と、NVC01業務と同等機能の1NV業務（詳細後記）において、1送信あたりのハウスB/L登録可能件数（20件）、1マスターB/Lに関連付け可能なハウスB/L件数（99件）を拡張しないため、現行と同様に登録が必要。

第20回WG提示済み
第22回にて新規業務名等を赤字更新

変更概要

- ① 輸入混載貨物に対する簡易的な申告手続きを可能とする新規業務を追加する。
- ② ①に先立ち、簡易的な申告手続きを行う輸入混載貨物情報を登録する業務を追加する。
- ③ ②の事前情報登録業務における利用者の業務負担を軽減するため、事前情報登録業務を実施した際に、事前情報登録業務の登録内容を引用し、「ハウスB/L貨物情報登録（NVC01）」業務相当の新規業務を自動起動する機能を追加する。

次期



第20回WG提示済み
第22回にて新規業務名等を赤字更新

項番	業務名(仮)	業務コード	業務概要	今後の検討事項
1	海上簡易輸入申告	未定	<ul style="list-style-type: none"> 輸入混載貨物について、法令等で定められる要件を満たす場合に通常の輸入申告より申告項目等を限定した簡易的な申告を行う業務 	<ul style="list-style-type: none"> 簡易輸入申告が認められる具体的な条件及び申告項目については、今後関税局にて検討される制度面の内容に基づき決定
2	混載貨物 事前情報登録	SKA	<ul style="list-style-type: none"> 海上簡易輸入申告を行う場合において、申告に先立ち対象の混載輸入貨物を登録する業務 	<ul style="list-style-type: none"> SKA業務における具体的な入力項目については、「ハウスB/L貨物情報登録（NVC01）」業務相当を前提にし、また税関が求める項目については、今後関税局にて整理される制度面の内容に基づき決定
3	ハウスB/L貨物 情報登録（多数件処理）	1NV	<ul style="list-style-type: none"> SKA業務（項番2）にて貨物情報を自動登録する旨の入力を行った場合に、SKA業務の実施を契機に自動起動し、登録されたハウスB/L情報を基に「ハウスB/L貨物情報登録（NVC01）」業務相当の処理を行う機能 本機能によりハウスB/Lの貨物情報が登録されるため、別途「ハウスB/L貨物情報登録（NVC01）」業務の実施は不要となる想定だが、件数に応じて当該ハウスB/L情報をマスターB/Lと紐づける後続作業（NVC01、NVC02、CTS）はこれまで通り必要。 	

項番2の業務実施可能者は、税関官署への事前申出とする想定

SKA業務の機能概要

SKA業務に以下の機能を設ける。

※項目名、レイアウトは検討中であり、イメージを記載

【貨物情報の自動登録】

貨物情報を自動登録する旨の入力を行った場合に、SKA業務を契機に1NV業務を自動起動する機能を設ける。
1NV業務では、SKA業務で登録した事前情報を基に、貨物情報を登録する。

【関連付けマスターB/L番号】

貨物情報の自動登録を行う旨の入力を行ったうえで、本項目にB/L番号を入力することで、海上簡易輸入申告対象のハウスB/Lと、そのマスターB/Lを関連付ける機能を設ける。

SKA 混載貨物事前情報登録

マスターB/L番号 (最上位) *

貨物情報の自動登録 (: 要 : 不要)

関連付けマスターB/L番号

ハウスB/L番号	品名	...
孫B/L_A-1	XXXXXX	
...	...	
孫B/L_A-99	XXXXXX	

マスターBL (親B/L)

子B/L_A

子B/L_B

孫B/L_A-1

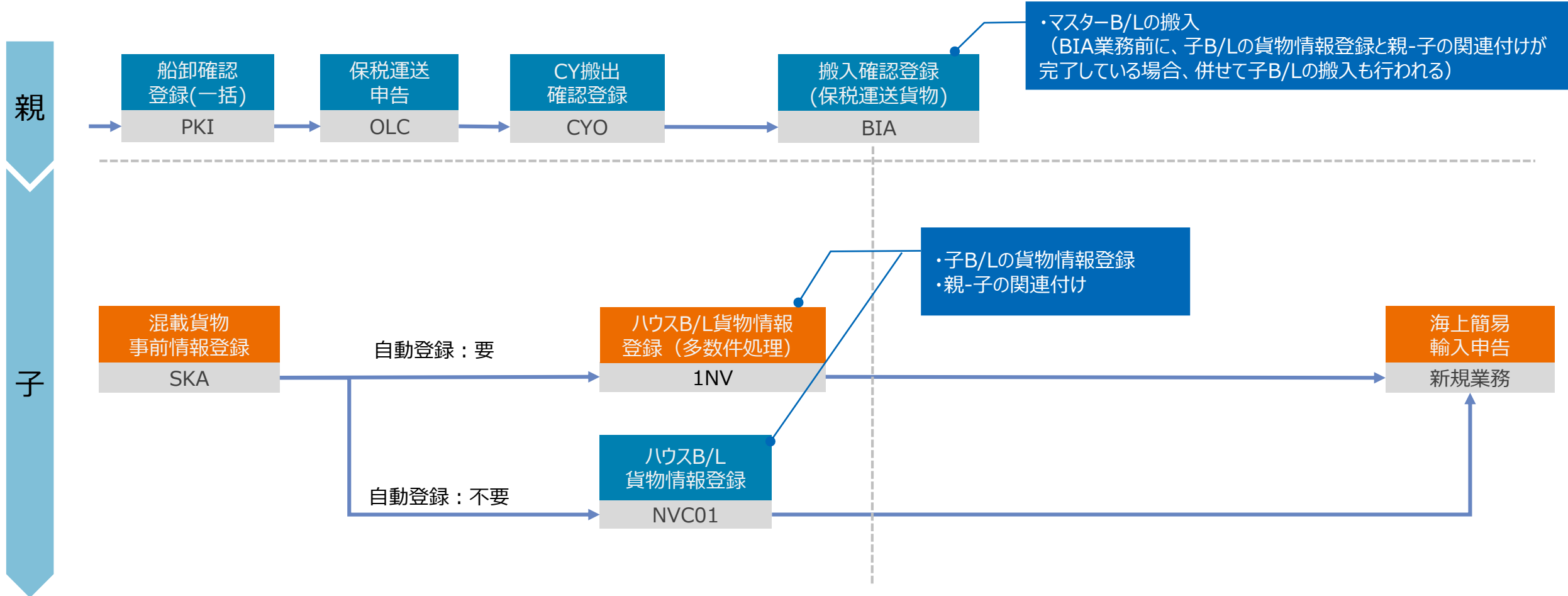
孫B/L_A-99

孫B/L_B-1

孫B/L_B-99

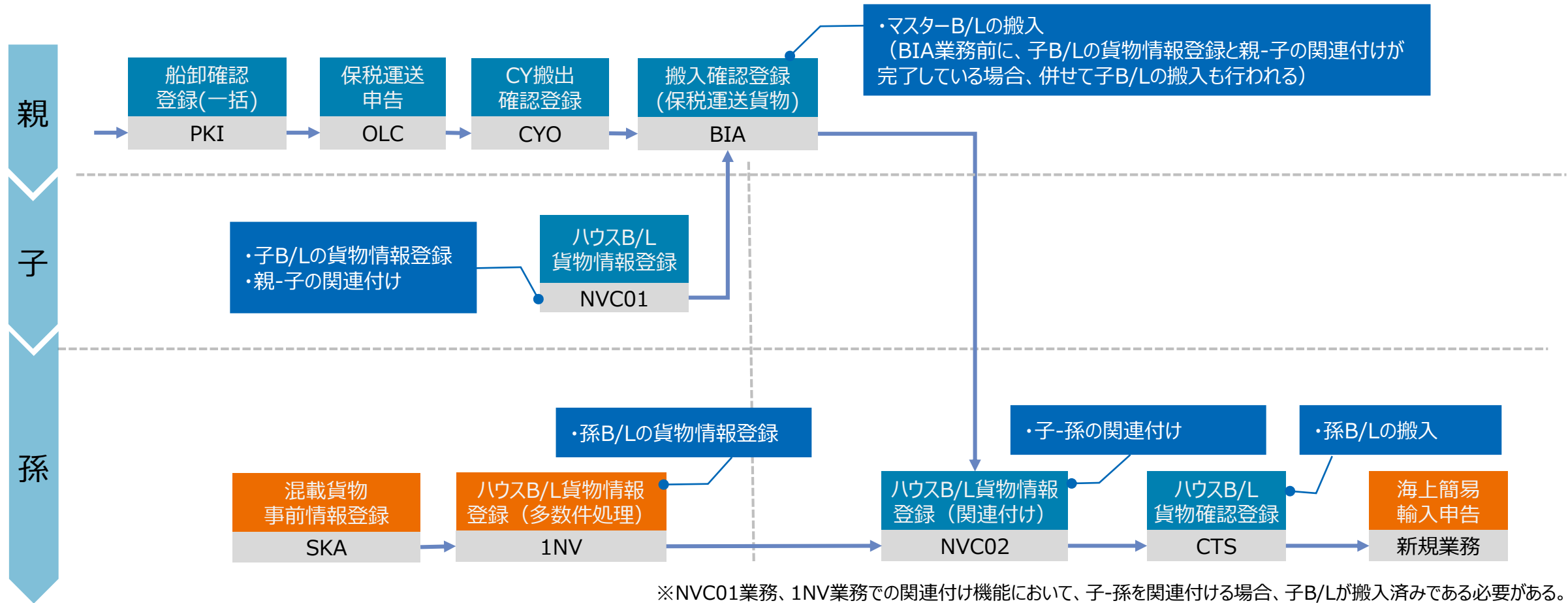
業務ルート（登録パターン①）

・1件のマスターB/Lに関連付けるハウスB/L：99件以下



業務ルート（登録パターン②）

- ・1件のマスターB/Lに関連付けるハウスB/L：100件以上
- ・SKA業務の入力内容
 - 貨物情報の自動登録：**要（自動登録）**



※NVC01業務、1NV業務での関連付け機能において、子-孫を関連付ける場合、子B/Lが搬入済みである必要がある。
本業務フローでは、子B/Lの搬入がBIA業務にて行われるため、1NV業務のタイミングでは、子-孫の関連付けは行えない。

業務ルート（登録パターン③）

- 1件のマスターB/Lに関連付けるハウスB/L：100件以上
- SKA業務の入力内容
 - 貨物情報の自動登録：不要（手動登録）

